

クサギカメムシとは

学名：*Halyomorpha halys*（カメムシ目カメムシ科）

英名：Brown marmorated stink bug

形態：成虫は13-18mm。暗褐色の地に、不規則な黄褐色の斑紋がある。

分布：北海道、本州、四国、九州、沖縄本島、石垣島、西表島、朝鮮半島、台湾、中国、米国、ヨーロッパ

- ・ 成虫及び幼虫がマメ科植物の子実を吸汁加害する。このほか、カキ、ナシ、モモ、ブドウ、ウメ、カンキツ、ビワ、リンゴなどの果実も吸汁する。
- ・ 日本全国に分布するが、東日本に多く、西日本では山地に多い。
- ・ 年1回の発生と考えられているが、暖地では一部2回発生の可能性もある。
- ・ 東日本の山間部では成虫の大群が越冬のため家屋に侵入して、悪臭を放って不快昆虫として騒がれることがある。
- ・ 越冬は成虫で、山間地の家屋、作業小屋などの建物のすき間に集合した状態で行われる。
- ・ 越冬成虫は4月頃より活動しはじめ、5月下旬～6月頃に産卵する。
- ・ 卵は30個ぐらいが卵塊として産下される。



クサギカメムシ成虫

出典：日本農業害虫大事典（2003）全国農村教育協会
日本原色カメムシ図鑑（1993）全国農村教育協会